

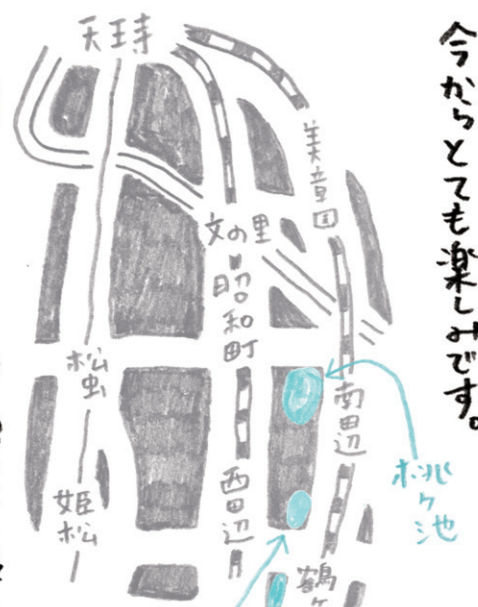
昭和な町の未来地図

私の生まれ七月だったまち
大阪市阿倍野区昭和町は、
梅田やなんばに並ぶ
大阪の繁華街、天王寺の
ひと駅となりでありながら、
昔ながらの長屋が建ち並び、
ガタンゴトンと路面電車が
まちを通り過ぎる。
下町です。

先前の通り、
昭和な雰囲気が漂う
のんびりとしたまちなみ、
大阪らしいエネルギーが
町の人々、小さいけど、何だか
グッと心惹かれる。
昔からあるお店や、
新しくできたお店たち。
観光地ではないけれど、
ここにいて
たれ持ちのいい暮らしが
送れそうなお店が
あります。

かい頃は、これが当たり前
風景だと思っていたけど、
何だかそうではないようです。
昭和町はなんとなく自然に
いい町になったわけではなく、
この町の未来を思い、守り、
古くもまた町の人々によって、
今のまちの未来が
送られはじめたようです。

せかく住むなら町にはいづまでも
元気で魅力的でほしい。
昔からあるこの町の良さや、
これからの暮らしに向けた新たな
変化が合っちゃって、
さらに進化していく
昭和な町の未来が
今からとても楽しみにです。



私の地元は主に天王寺から
西田辺駅までのエリアです。ここでは
まよめて「昭和町」と表記しています。



わたしのまちはバイロカルのまちです。

「なんだかいいまち! 昭和三町」

昭和三町には昔から長屋がたっさんあったけど、いつからか自分の住んでいる町を楽しく充実感を覚えてきた。

最近、そうした長屋を活かした新しいお店が増えている。

楽しいお店や昔からあるお店に出会えるマーケットもあって、そこには、昭和三町が今のようになっているまでのヒミツが書かれていた。

なんだかみんな楽しそう。気持ちのいいまちなのね。

どうやら「BUY LOCAL (バイロカル)」がキーワードらしい。

学生の頃は、天王寺村に近いのが、この町のいい所と聞いたけど、なんで地元 (LOCAL) で買ったものがいいの? そもそも、なんで長屋が99%なの? 考えて、バイロカル、THINK LOCAL!

Q. "バイロカル"って何ですか?

身近なよき商いを地域で守り育てる4-グメントです。

バイロカルとは、身近なよき商いを地域で守り育てる4-グメントです。昭和三町の取り組むバイロカルは、地域の素晴らしい商いを私たち生活者が知ることからはじまります。そして、それらのお店を積極的に使うことで、よき商いが残り、新たによき商いが残存し、そのことで地域がより魅力的になる。結果として暮らす人の生活の質を高め、そして多くの人々が住みたいと思えるまちとなり、地域の価値を向上させる取り組みです。

バイロカルがこの町の暮らしを豊かにします。

この町には、地域に根ざした特産物があるお店や魅力的なカフェ、食料店、モノづくりやデザイン事務所等、まちの魅力を地域に貢献する商いがたくさんあります。昔ながらのお店は伝統を培い、地域に品を与え、新しく生まれた商いは地域に新しい風を吹き込んでいます。地域に根ざす商いは、食の安全や安心、地域の助け合い、子育てや教育、地域経済や働く場、古い建物の再利用など、直接間接に地域に貢献し、私たちの生活を魅力的なものにし、地域の価値を向上させる存在であるという信念のもと、バイロカル4-グメントに取り組んでいます。



Q. これから昭和三町は... これから昭和三町はどうなっていくのでしょうか?

バイロカルの活動をして、この町の暮らしを室内にいます。ステイロカル (STAY Local) では、バイロカルマップを使って、近隣のお店をゲストにどんどん紹介しています。外国人旅行者が、自分のまちを、良い、かっこいいと言ってくれるのは、店主やまちのひとにとって素晴らしいことにもなるし、地域にうれいことなのだと感じます。

この町で商いをはじめました。生まれも育ちもこの町で、広島で造園業の修行をした経験、地元に戻ってきてすぐ独立をしました。最初は中々仕事もないので、バイロカルに答へ、それがきっかけで、沢山のつながりができ、今にいたります。

Q. どんな活動をしているのですか?

バイロカルなお店を紹介しています。まちにあるよき商いをを行うお店の存在を知って、まちの人々がそうしたお店を日常使いしていただきたいという思いから、まちのお店を紹介するバイロカルマップを制作。年に1度「バイロカルの日」を開催し、お店のママとまちの人々が交流するマーケットを企画、運営しています。来場者にはマップを配布し、365日バイロカルを目指しています。

詳しくは、バイロカル HP (buylocal.jp) へ!

バイロカルは1998年にアメリカのコロラド州ホルダーで始まりました。当時アメリカでは、チェーン大型店が勢々と町に出店し、地元商店は衰退していく状況に危機感を覚えた人々が「Think Local」と訴え、全米各地で地元商店の連合体を組織しました。

アメリカで生まれた運動です。

バイロカルは1998年にアメリカのコロラド州ホルダーで始まりました。当時アメリカでは、チェーン大型店が勢々と町に出店し、地元商店は衰退していく状況に危機感を覚えた人々が「Think Local」と訴え、全米各地で地元商店の連合体を組織しました。

昭和三町の長屋の匠! 伴現太さん 連・建築舎

1日1組限定の宿を運営 三浦麻理子さん STAYlocalファウンダー

長屋で花屋を営む町の庭師 藤野直人さん 庭師・富士濃造園株式会社

昭和三町の歴史と文化

意外と知らない町のこ

地域に根ざしたやさしい住み方を提案

ピーロカルパートナーズ 松峯哲也さん 大興ハウス株式会社

長屋 nazaya

大正末～昭和初期に田畑が区画整理され、中産階級向けの上質な都市型住宅の長屋が大量に供給されました。門と前庭・裏庭がある立派な構えで、間取りも3DKなどゆったり。外観も和風から洋風まで多様で、近代的な耐震技術も取り入れられています。

伝統野菜 Traditional vegetables

この地域は昔、天王寺村、阿倍野村、田辺村と呼ばれ、天王寺無や田辺大根などが栽培されています。戦後は絶滅したと思われましたが、種子が発見され、地域の学校などで栽培されています。

桃ヶ池公園 momogaike park

古代からある池で、国内で最初に都市計画による土地区画整理事業とあわせて整備された公園です。一帯では田園都市づくりが進められましたが、春は桜と桃、夏はハスの名所として賑わいます。

街道と社寺 highway & temple

古代の官道や熊野街道、高野街道、庚申街道が通っていて、中世に創建された阿倍野晴明神社や山阪神社、法楽寺などが今も信仰を集めています。

ものづくり DNA Craftsman Ship

都心部周辺にあるため、靴や革小物、錫、文具部品、種麹などのものづくりメーカーがたくさんあります。現在のバイロカルにも革小物のお店が多数参加しています。